

# 御 挨拶

山口県スキー連盟

会 長 中 村 克 巳

昨年同様、9月中旬になっても、まだ残暑が続いておりますが、皆様お変わりなくお過ごしのことと存じます。地球温暖化の影響が、天候以外にも、魚の生息域の変化、野菜への被害等色々なところに出てきております。今年の冬にしっかり雪が降ってくれるのか非常に心配ですが、人工降雪機のあるスキー場を頼って、楽しむしかないのかもしれませんが。

一昨年、昨年と2回酒井元ナショナルデモの指導を受け、皆さんは刺激を受けたのではないかと思います。私も、あちこち関節の調子が悪くなってきておりますが、それにも負けずにスキーが上手くなるように、また楽しむようにしたいと思っております。皆様におかれましても、まだまだ、年に負けないで、スキー技術の向上に努めながら、今シーズンもスキーを楽しんでもらいたいと思っております。

毎年書きますが、山口県スキー連盟の課題ですが、1. ジュニアスキーヤーの発掘、2. 全年齢層のスキーヤーの増加策、3. 競技役員の減少と高齢化に対する対応、4. 連盟の財政面の改善策を考えなければなりません。3. については、競技部では人員不足になっておりますので、教育部の方にも応援していただく必要があります。よろしくお願い致します。特に、1. のジュニアスキーヤーの発掘についてですが、中学校の部活動が段階的に地域へ移行されることになっていきます。しかし、まだまだ進んでいないようですが、この機会に、スキー競技を中学生に指導できる環境を連盟が構築し、ジュニアがスキーに興味を持ち、参加してもらうことも解決策の1つになると思っております。2、4、についても、会員の皆様には、頭にとどめていただき、アイデア、知恵を出していただければ幸いです。

簡単ですが、来るシーズンが天候に恵まれ、良いシーズンが送れるように祈念し、また各行事にご支援いただいている関係各位に対し、心からの感謝の意を表し、ご挨拶といたします。